

(様式)

平成25年度 津山市立弥生小学校 学校評価

校長 村上正充

1 自己評価

I 評価結果

- ・授業改善に関する評価が低い。
- ・家庭学習の習慣化を図る手立てが不十分である。
- ・学習規律の定着に向けた取組が弱い。

II 分析・改善

- ・教材研究の一層の充実に努める
- ・基礎学力の定着のため、朝の学習や放課後学習の充実を図る。
- ・全教職員で「きまり」の徹底に努める。

2 学校関係者評価委員会

益田孝男（地域住民）、松井奏子（保護者）松井誠次（東苜田公民館長）、
池上美左子（しらゆり稚園長）、川島靖弘（元PTA会長）有富裕子（城北保育園主任）

3 学校関係者評価

○ 授業参観をして

- ・落ち着いている学年学級が多い。
- ・明るく元気で、活動的である。
- ・掲示物を見ると、しっかり表現できている。

○ 学校評価アンケートより

- ・全体的には、学校・教師の取組に対して、肯定的な回答が得られている。
- ・「授業が楽しく分かりやすいと言っている」「進んであいさつをする」「家庭学習の習慣が身についている」のポイントは昨年度に比べやや下がっている。
- ・「誠実に対応する」「家庭との連絡をきめ細かくとっている」のポイントがやや低い。
- 保護者や児童の思いや願いに寄り添って、ていねいに対応していきたい。学校での様子や指導内容を伝え、一緒に考えていく姿勢を大切にしたい。

○ その他

- ・元気なあいさつができる子どもたちに。
- ・きまりを守らせる。

4 来年度の重点取組（学校評価を踏まえた今後の方向生）

やさしく 助け合う子（豊かな心）

- 元気なあいさつ
- 自他ともに大切にし、円滑な人間関係を育成する集団づくり
- 道徳的実践力の育成
- コミュニケーション能力の向上

よく学び よく考える子（確かな学力）

- 学ぶ楽しさや学習意欲を喚起する授業づくり
- 体験的な学習、問題解決的な学習の充実
- 学び合い学習の推進
- 基礎基本の確実な定着
- 家庭学習の充実

いきいき 活動する子（健やかな体）

- 基本的な生活習慣・運動習慣の確立
- 食に関する指導の充実
- 日常体育の充実と外遊びの奨励・充実
- 危険予知、回避能力の育成

◎ 原理原則基礎基本の徹底

当たり前のことを当たり前に粘り強く

◎ 児童の成長につながる「考えさせる」指導とフォローの強化

◎ 意欲を高めるきっかけづくり

◎ 小中連携の推進